

1) 委員会 9回

2) 検討事項

(1) 第22回福岡県看護学会について

- ①運営方法について ②シンポジウムについて ③抄録選考について
④プログラムについて ⑤研究発表支援員について ⑥特別企画について
⑦発表者と支援員のための説明会及び面談会について ⑧集録集について

(2) 第23回福岡県看護学会について

- ①運営方法について ②テーマについて ③特別講演について
④シンポジウムについて ⑤ポスターチラシについて ⑥学会実施要綱について
⑦特別企画について ⑧広告掲載企業について ⑨研究発表支援員マニュアルについて
⑩令和5年度のスケジュールに関して

(3) その他

- ①委員長、副委員の互選について ②令和5年度学会委員会活動内容及び事業計画について

2. 活動報告

1) 第22回福岡県看護学会

テーマ 「追求し続ける看護」

開催日 12月12日～令和5年2月13日(完全オンデマンドで開催)

内容 ①口演発表26演題(申込演題30演題、採択演題27演題)

②特別講演「新しい時代に向けて～日本の看護の未来～」

講師 千葉大学大学院看護学研究院 教授・国際看護師協会 理事 手島恵 氏

座長 公益社団法人福岡県看護協会 会長 大和日美子

③シンポジウム「良質な看護サービスの提供に向けた取り組み

～ガイドラインに基づいた看護補助者との協働～」

コーディネーター 久留米大学病院 小川由美 氏(シンポジストを兼ねる)

シンポジスト 一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院 後藤明子 氏

シンポジスト 医療法人輝栄会 福岡輝栄会病院 中瀬桜 氏

④特別企画 プログラムⅠ「看護実践報告～セル看護提供方式[®]について～」

報告者 株式会社麻生 飯塚病院 久保佳子 氏

⑤特別企画 プログラムⅡ「医療的ケア児支援の取り組み

～福岡県医療的ケア児支援センターの活動を通じて～」

報告者 福岡県医療的ケア児支援センター 横田信也 氏

⑥特別報告 「訪問看護事業所と介護保険施設で働く看護師が利用者・家族から受ける暴力・ハラスメントに関する調査結果報告～調査結果からみえた今後の課題と取り組み～」

報告者 社会保険田川病院 仲村亜依子 氏(福岡県看護協会社会経済福祉委員長)

対 象 看護職及び看護学生

総参加者 617名(発表者含む)

2) 発表者と支援員のための説明会及び面談会

開催日 7月8日 ※欠席者は、別日にオンラインで面談実施

内容 学会発表者の研究に対して原稿のまとめ方の支援を行い、最終原稿作成までを支援する

対 象 学会発表者及び発表者を支援する支援員

参加者 発表者13名・支援員13名 計26名

3. 今後の課題・検討事項等

第22回福岡県看護学会は、第21回に引き続き完全オンデマンドでの開催となった。企画にあたり、当委員会ではより質の高い学会開催を目指し、昨年度の企画・運営を振り返りながら検討を重ねていった。

アンケートでは参加満足度が高く、全ての企画において「参考になった」と多数の回答を得ることができ、

全体として評価は高かった。シンポジウムにおいては、「ディスカッションの場があれば良かった」との意見があり、オンデマンド開催のデメリットと考える。集合開催となる第23回の学会では、充実したディスカッションが行えるように企画していきたい。

学会参加者数は、昨年度までと比較し、横ばいで推移した。一方で、参加者の年代、病床数における参加施設や地区別においては、偏りがみられた。特に、以前より課題となっている20～30歳代の参加割合の低さが顕著にみられた。20～30歳代の参加割合の増加を、今後も重要事項のひとつとし、企画を検討していく必要がある。

2年間にわたり完全オンデマンド学会を開催したことは、学会委員会にとっては良い経験となった。メリット・デメリットを見出したことで、今後の学会開催に向けて企画・運営を広い視野で捉えることができるようになった。第23回は、集合開催及びオンデマンド開催、それぞれのメリットを最大限に活かせるように取り組んでいきたい。